





②

こんにちは！ ぼくの なまえは そら。
ワクワクすることが だいすきなんだ！
みんなは ワクワクすることが すき？
ワクワクすることが すきなひとは みんな
「オープンエアーメーカー」に なれるんだよ。
もちろん ぼくも
いまは オープンエアーメーカー なんだ！

◆読み手の皆さんへ

主人公の「そら」くんが登場。丸いワクに囲まれています。





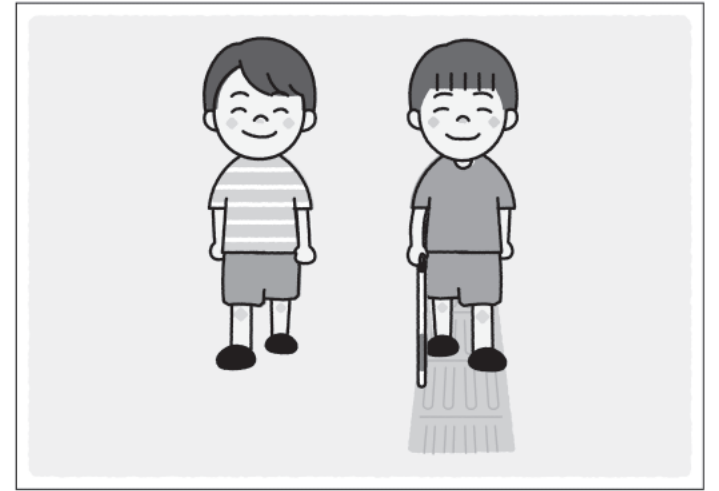
③

オープンエアーメーカーって なんだろう？
ぼくも はじめは ぜんぜん しらなかつた。
オープンエアーメーカーって いうのはね
ワクを なくして ワクワクを
つくれるひと のことなんだ。
「ワクワク」は わかるよね。たのしくて
みんなが えがおに なること。
じゃあ 「ワク」って なあに？
「ワクを なくす」って むいごいふや？
いっしょに かんがえてみよう。

◆読み手の皆さんへ

右のそらくんは、ワクがなくなっていくイメージを表現しています。



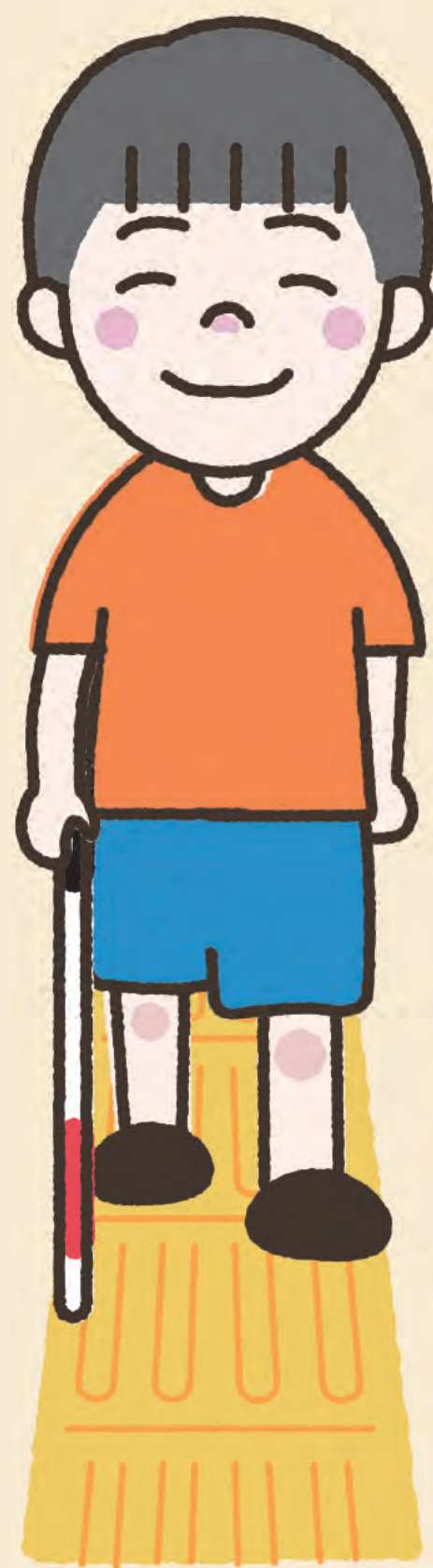


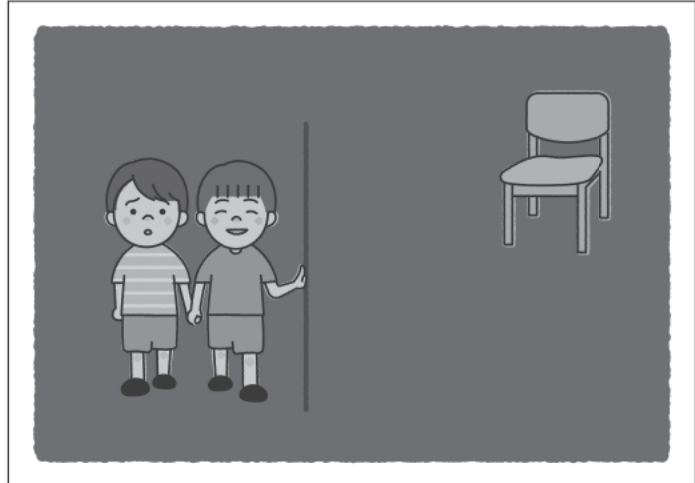
4

ぼくが まだ
オープンエアーメーカーじゃなかったときの
はなしを するね。
ぼくの ともだちの ひろくんは
めが みえない。
ぼくは
「ひろくん たいへんだなあ。
あるくのが こわいだろうなあ」って
おもってたんだ。

◆読み手の皆さんへ

友達の「ひろ」くんが登場。目が見えないという障害があります。



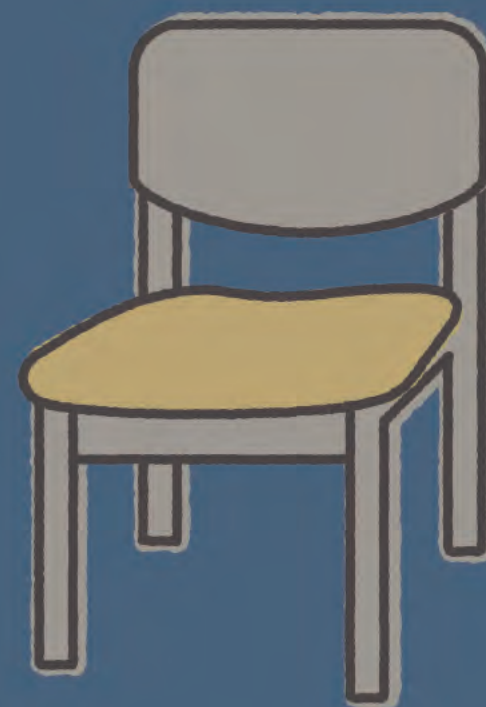


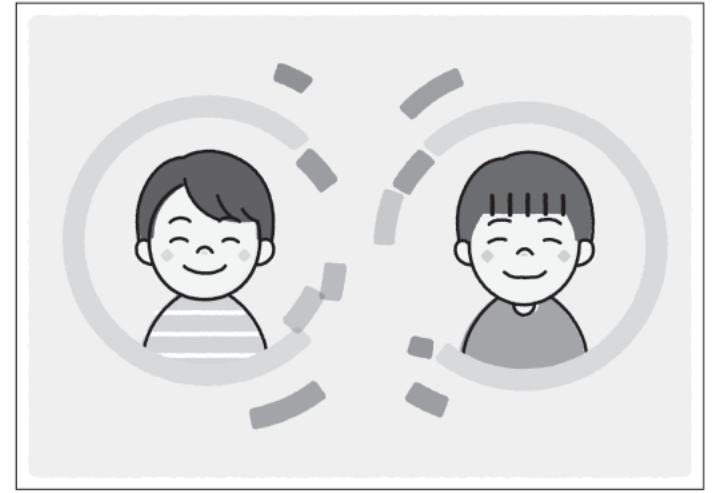
5

あるとき　うちの　なかで
あそんでいたら　ていでんになった。
まっくらになって　ぼくは　びっくり。
おもわず「ごわいよ！　ひろくん　どーど。」
って　いっちゃった。
ひろくんは「ごうだよ」って　いって
ぼくと　てを　つないでくれた。
ひろくんは　いつもと　あんまり
かわらないから　ごまらなかった。
てで　へやを　さわって　あるいて
「だーじゅいぶだよ。うすい　すわるひ」って
いすの　あるところを　おしえてくれたんだ。

◆読み手の皆さんへ

まっくらな状態でも落ち着いているひろくんと、不安になっているそらくん。その違いを伝えています。





⑥

めが みえる ぼく。
みえない ひろくん。
どっちにも できること
できないことが あるんだね。
だから ひとりでは むずかしいことも
いっしょに やれば できるんだ。
もっと たくさん ワクワクできるって
いうことなんだね。

◆読み手の皆さんへ

ワクのある友達、ワクがなくなっていく友達。その違いを見せるページです。





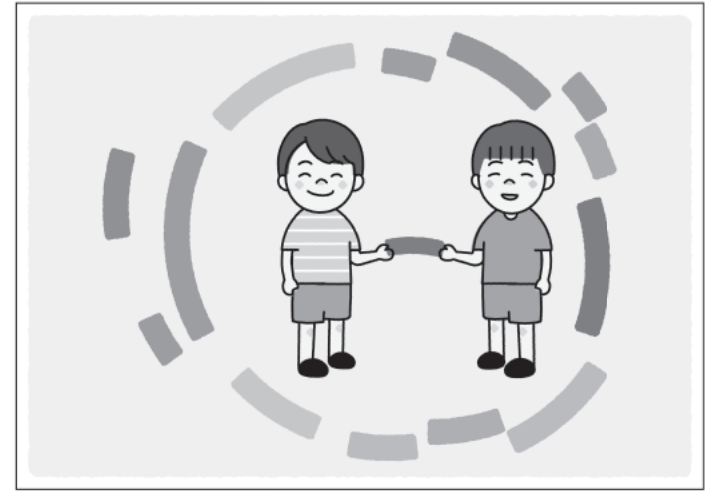
7

そのことを しらないと
まるで ワクが あるみたいに
ひとりひとりは はなれた まんまだね。
みんな できないことは そのまんま。
きみの できないことも そのまんまなんだ。

◆読み手の皆さんへ

ワクのある友達、ワクがなくなっていく友達。その違いを見せるページです。



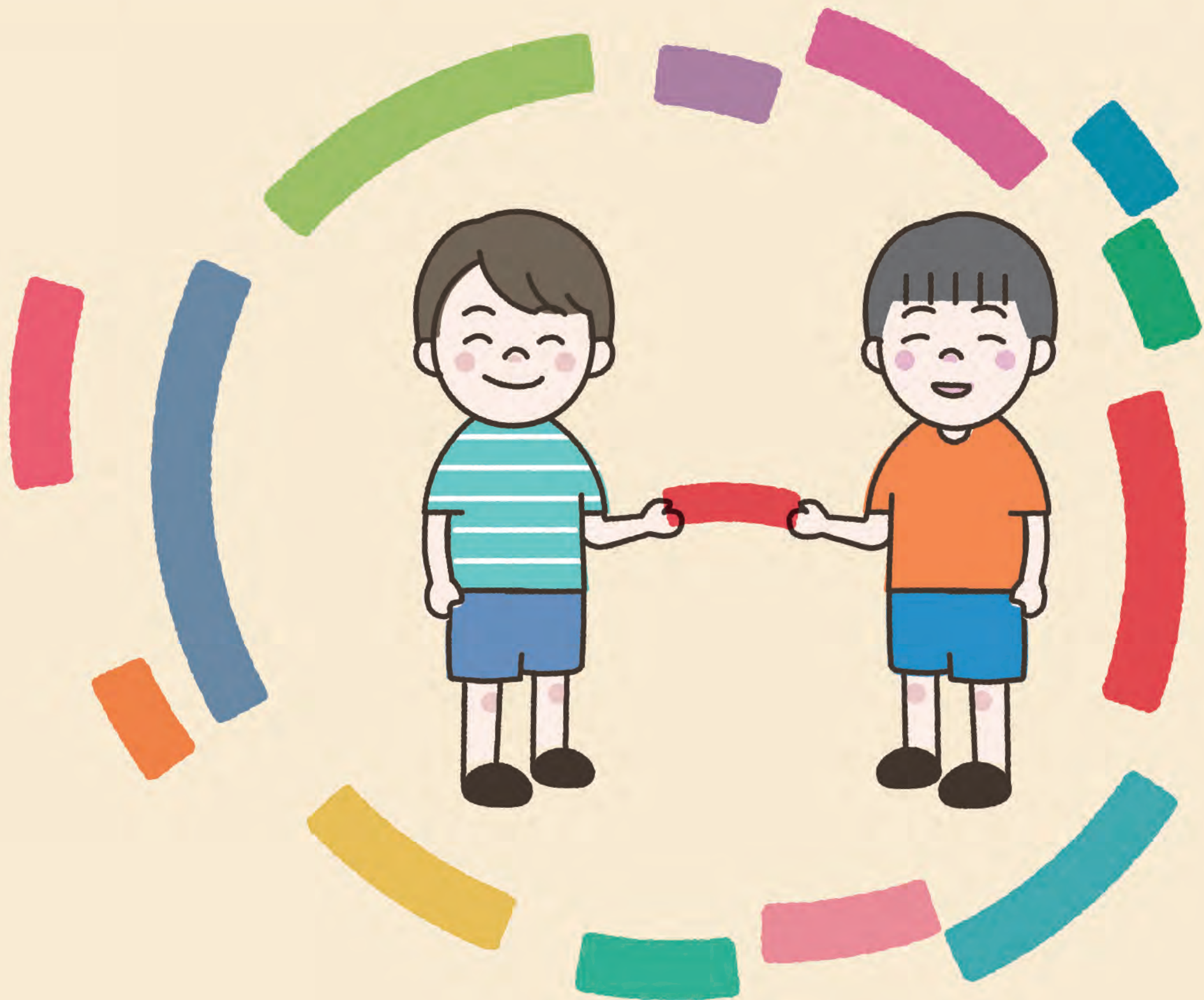


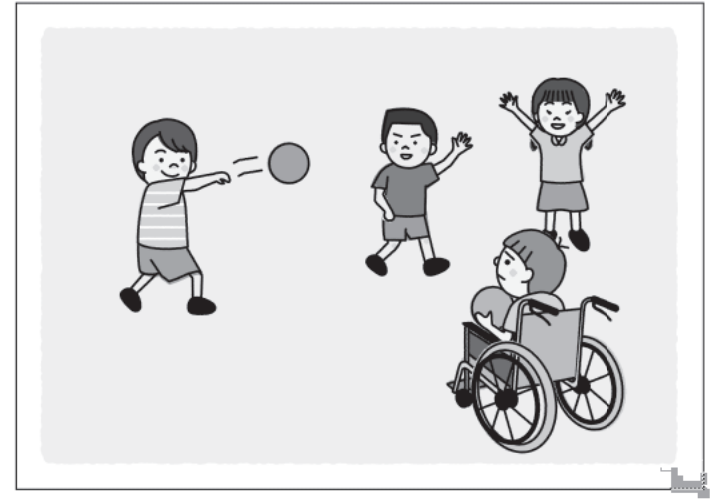
8

あいての ことを もっと しれば
「しらない」 っていう ワクが なくなつて
みんなで もっと ワクワクできるよね。
「しらない」って しらないよ。
それが 「ワク」。
ワクを なくして ワクワクする。
それが
オープンエアーメーカーに なるっていう
ことなんだ。

◆読み手の皆さんへ

そらくんとひろくんが持っているのは、ワクのかけら。ワクをひとつずつはずして、ワクワクしていく二人の様子を表現しています。



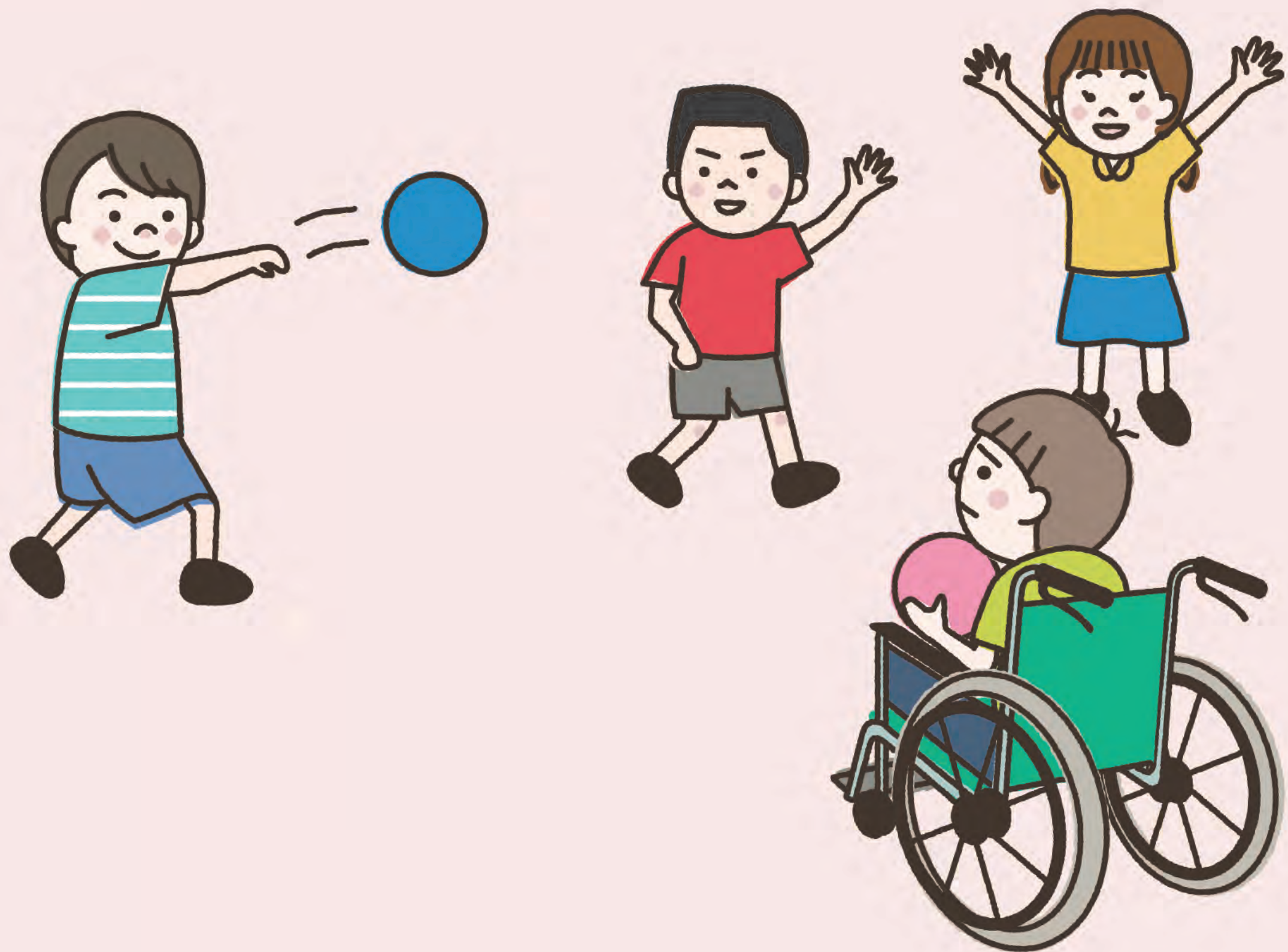


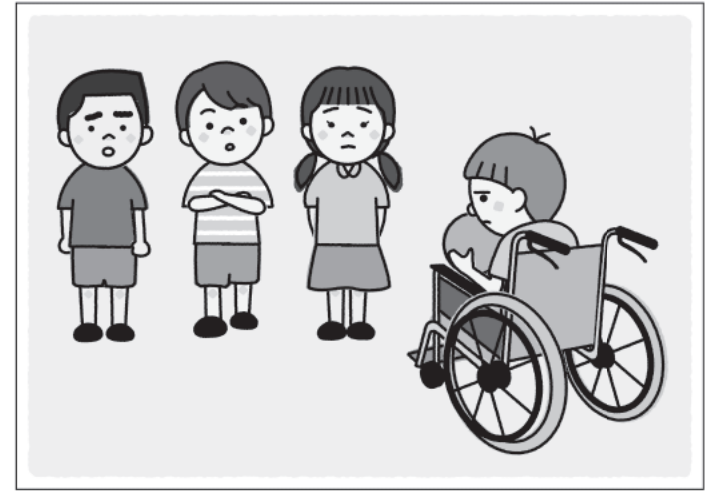
⑨

もうひとり ぼくの ともだちの
はなしを するね。
ぼくは あたらしい ともだちの
りくくんを さそって
みんなと いっしょに
あそぶと していたんだ。
「ボールなげを しよう」って
ぼくは いった。
でも りくくんは
ボールを うまく なげられない。

◆読み手の皆さんへ

別の友達「りく」くん登場。りくくんの背中からのアングルで、りくくん側の目線になって考えるようにする狙いがあります。



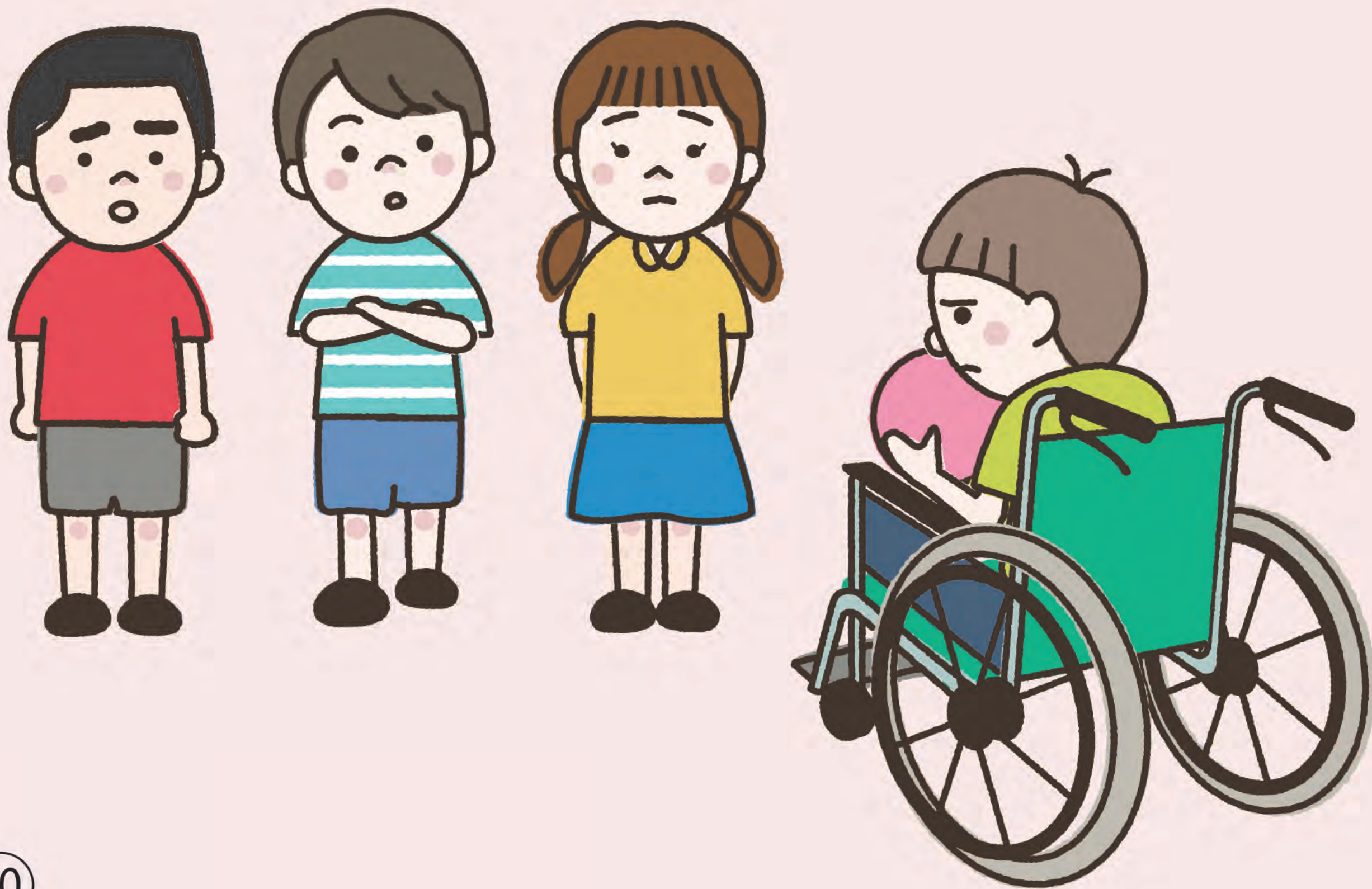


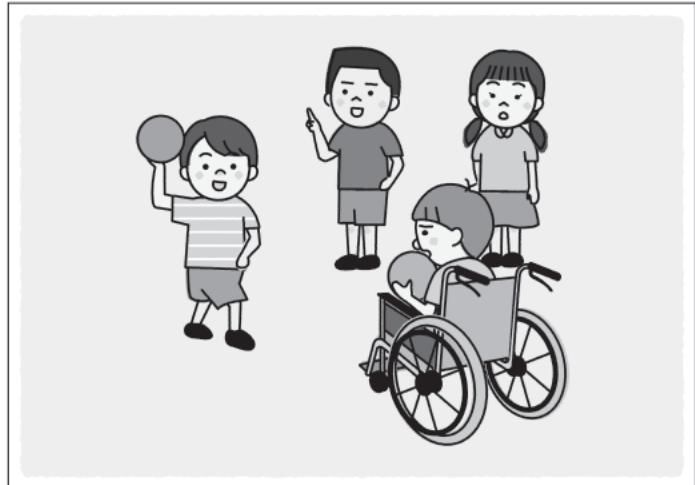
10

ぼくは りくくんが かわいそうに
なったけど
「できないなら しかたないよ。
そこで まっててね」って いったんだ。
そうしたら りくくんは しょんぼり。
ぼくも みんなも なんだか たのしくない。

◆読み手の皆さんへ

りくくんの背中からのアングルで、りくくん側の目線になって考えるようにする狙いがあります。

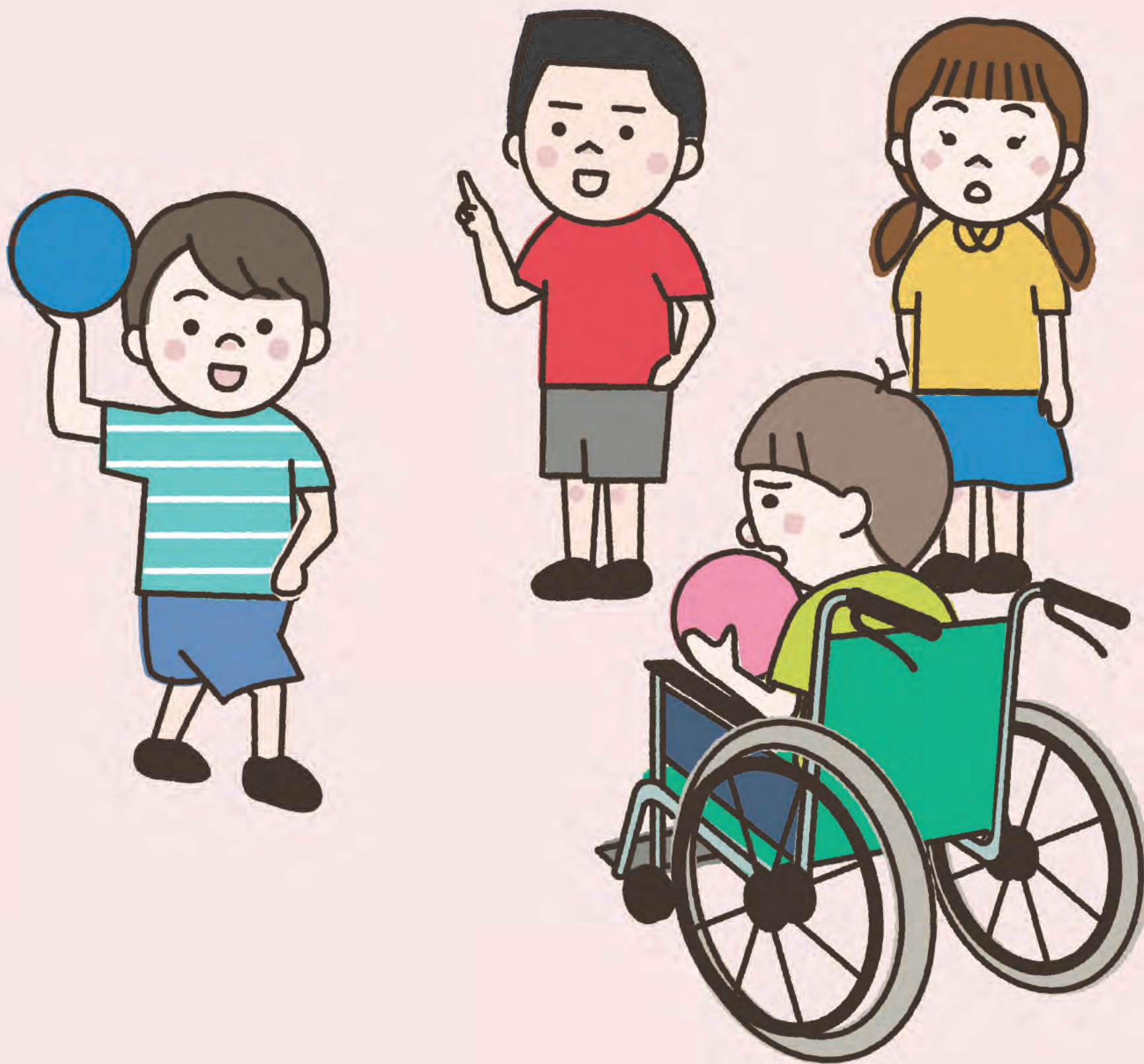


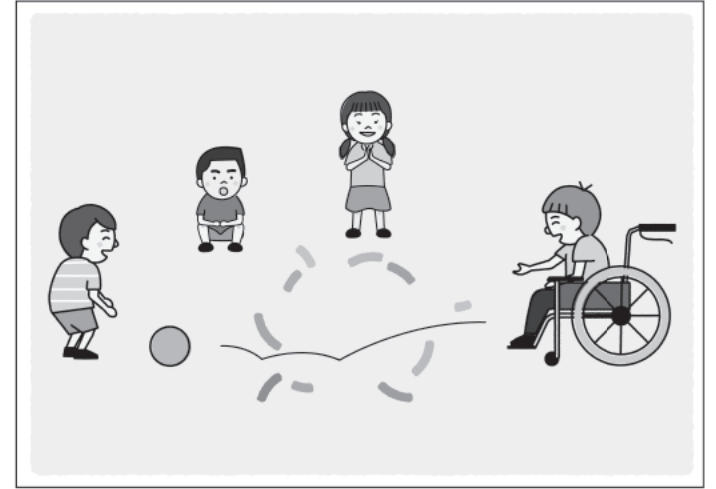


11

やっぱりいっしょに あそびたいよね。
だから ぼくは りくへんに
「ほら いっしょやって なげるんだよ」って
いっしょけんめい おしえたんだ。
でも りくへんは とっても こまっている。
「ぼくはね てが あがらないから
なげられないんだ」
ぼくも みんなも びっけり。
ぜんぜん しらなかった。
「でも いっしょがすいじなら できるよー」
りくへんは そっぴって
えがおに なったんだ。

◆読み手の皆さんへ





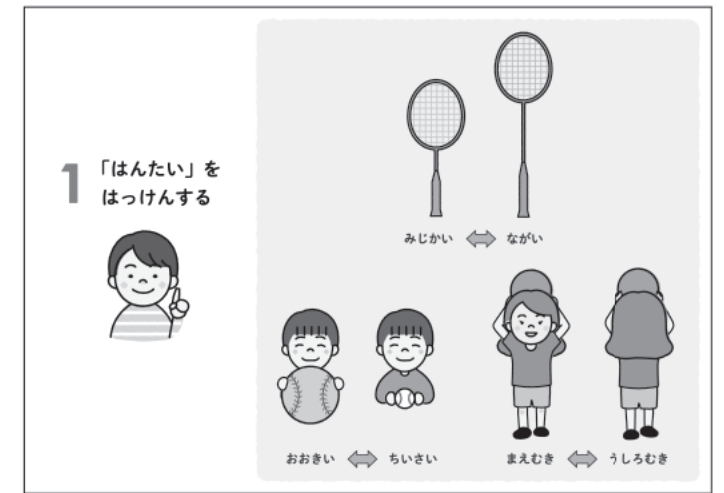
12

「そつだね！ ボールを なげるんじゃないくて
ころがせば みんなで あそべるね」
ぼくが そついうと みんなも
「じゃあ やってみようー！」って いったんだ。
ころがして あそんだら
とっても たのしい！
みんなが えがおに なったよ。
かえるとき りくくんも みんなも
「きょうはとっても ワクワクしたよ。
また あそぼうね」って いったんだ。
ひとりひとり みんな ちがいはあるよね。
だけど みんなで ワクワク できることは
かならず あるって ぼくは おもったんだ。

◆読み手の皆さんへ

大きく楽しくわかりやすく、ワクがなくなった瞬間を伝えます。





13

みんなが ワクワクできること
どうやったら みつけられる？
それには 3つの ヒントが あるんだ。
1「はんたい」を はっけんする
みじかい↕ながい
おおきい↕ちいさい
まえむき↕うしろむき
ながさや おおきさや からだのむき。
いろんなことの 「はんたい」を
はっけんしたら あたらしい
ワクワクが つくれそうだね。

◆読み手の皆さんへ

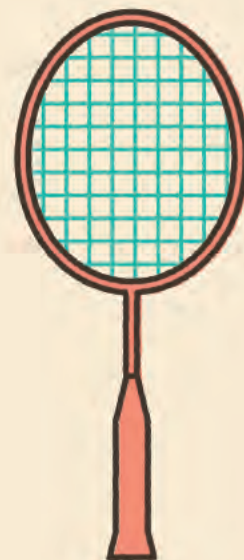
ワクワクをつくるための3つのヒントの1つめを紹介します。

オープンエアプロジェクトにおいて、誰もが楽しめるプログラムをつくるための基本理念のひとつとして「対称性」があり、これを「はんたい」と言い換えて解説しています。少し難しいかもしれませんが、ここでは「いろいろな方法がある」ということが伝わればOKです。

1 「はんたい」を はっけんする



おおきい ↔ ちいさい



みじかい



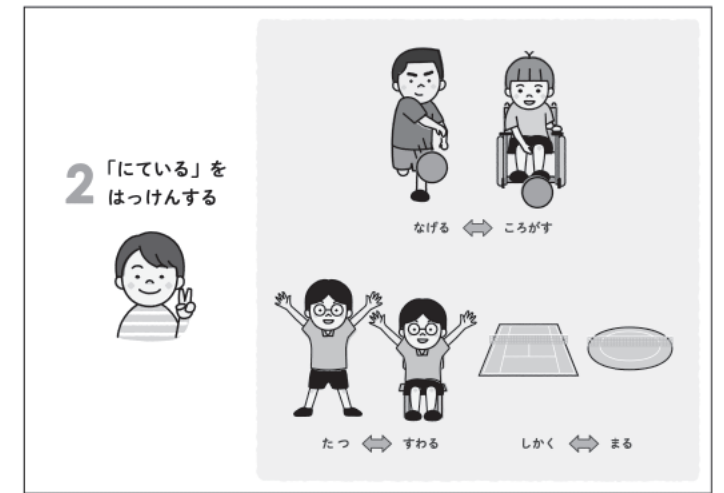
ながい



まえむき



うしろむき



14

2「にている」を はっけんする

なげる↕ころがす

たつ↕すわる

しかく↕まわる

からだの うづきまや あそぶ ばしょ。

「にている」ことを はっけん すれば

あたらしい ワクワクが ひろがるね。

◆読み手の皆さんへ

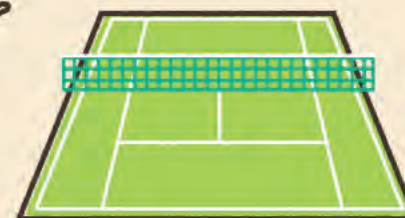
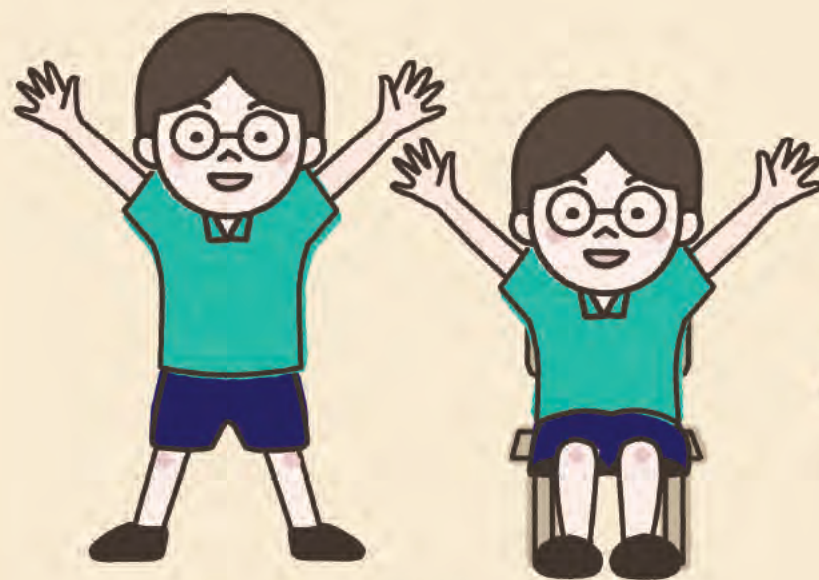
ワクワクをつくるための3つのヒントの2つめを紹介します。

オープンエアプロジェクトにおいて、誰もが楽しめるプログラムをつくるための基本理念のひとつとして「相似性」があり、これを「にている」と言い換えて解説しています。少し難しいかもしれませんが、ここでは「いろいろな方法がある」ということが伝わればOKです。

2 「にている」を はっけんする

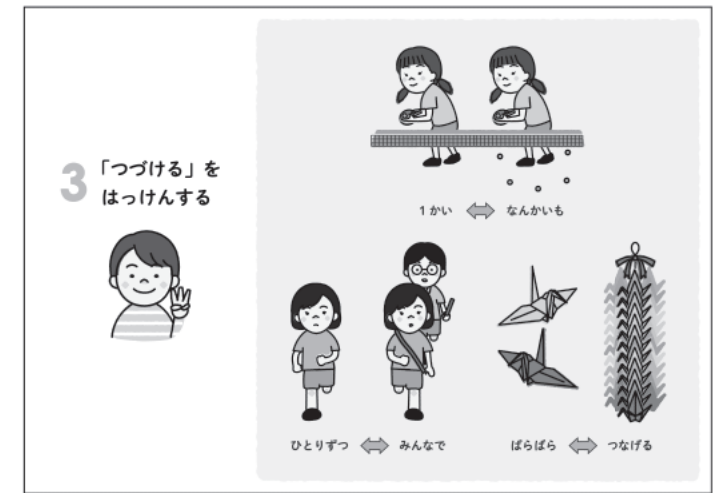


なげる ⇄ ころがす



たつ ⇄ すわる

しかく ⇄ まる



15

3「つづける」を はっけんする

1かい⇄なんかいも

ひとりずつ⇄みんなで

ばらばら⇄つなげる

ひとつのいっしょ

ばらばらのものを くっつけて

「つづける」ことを

はっけんすると

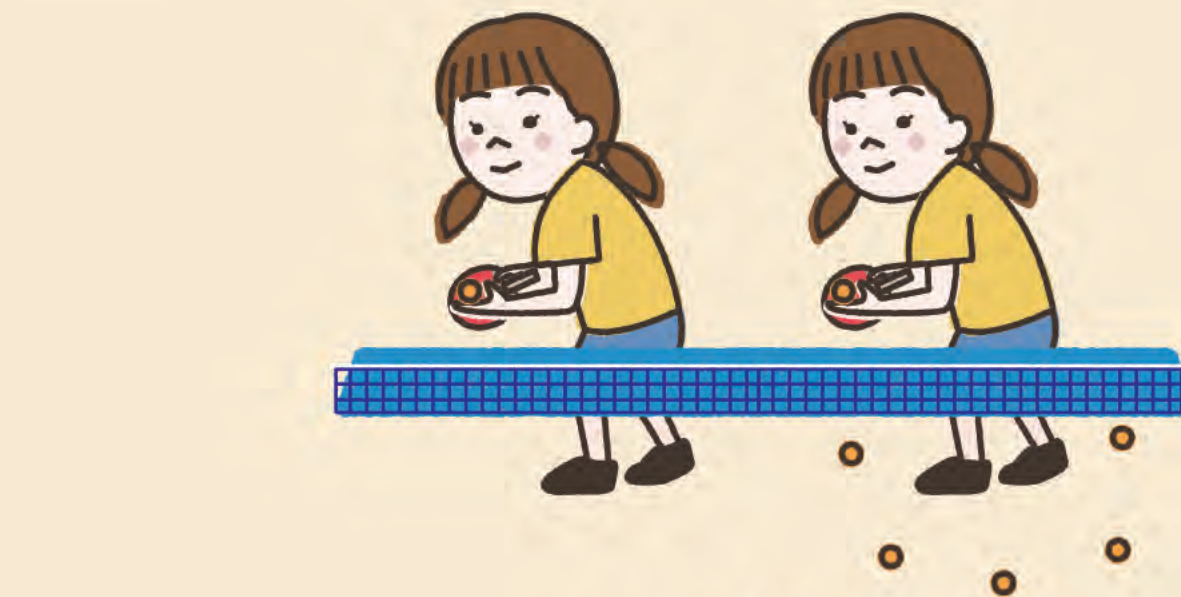
あたらしい ワクワクが うまれるよ。

◆読み手の皆さんへ

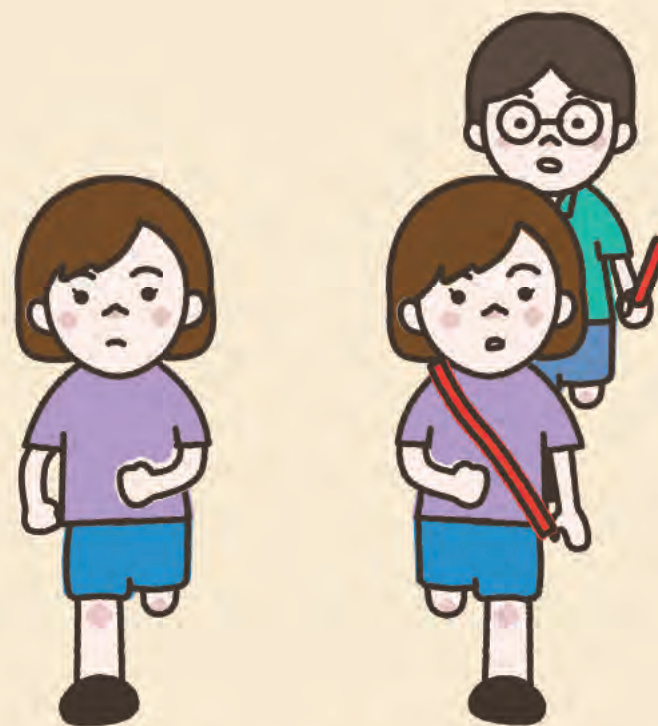
ワクワクをつくるための3つのヒントの3つめを紹介します。

オープンエアプロジェクトにおいて、誰もが楽しめるプログラムをつくるための基本理念のひとつとして「循環性」があり、これを「つづける」と言い換えて解説しています。少し難しいかもしれませんが、ここでは「いろいろな方法がある」ということが伝わればOKです。

3 「つづける」を はっけんする



1 かい ⇄ なんかいも



ひとりずつ ⇄ みんなで



ばらばら ⇄ つなげる

- 1 「はんたい」を はっけんする 
- 2 「にている」を はっけんする 
- 3 「つづける」を はっけんする 

16

さあ みんなで
ワクワクを つくろう！
ヒントは

- 1 「はんたい」を はっけんする
- 2 「にている」を はっけんする
- 3 「つづける」を はっけんする

◆読み手の皆さんへ

3つのヒントを、子どもたちと一緒に声を出して読むなど、みんなでもう一度確認しましょう。

オープンエアプロジェクトにおいて、誰もが楽しめるプログラムをつくるための基本理念として「対称性」「相似性」「循環性」があり、これを「はんたい」「にている」「つづける」と言い換えて解説しています。

少し難しいかもしれませんが、ここでは「いろいろな方法がある」ということが伝われば OK です。

1 「はんたい」を はっけんする



2 「にている」を はっけんする



3 「つづける」を はっけんする





17

きみが すきな あそびや スポーツを
どれか ひとつ おもいうかべて
もっと みんなで ワクワクするには
どうしたらいいか
みんなで いっしょに かんがえてみよう。

◆読み手の皆さんへ

ここで、ふだん遊んでいることを例に出しながら、たとえば目が見えない友達と一緒に遊ぶならどうするのか、みんなでアイデアを出し合います。そのときに、3つのヒントを参考にしていきます。

★実際に、一人が目隠しをしたり、いすに座るなどして障害のある子の役割を担い、ボールなどの道具を使うことで、さらに実践しやすくなります。

「いすから立てない子とボール投げをしたい。どうしよう？」

「じゃあ、みんなもいすに座ったらどうかな？」

★障害のある子を特別扱いして「助けてあげる」のではなく、みんなで「一緒に楽しむ」ことをめざします。

★いいアイデアが出なくても構いません。「何か工夫すれば、一緒に楽しめるんだ」ということに気づけばOKです。





できたかな？

さあ これで きみも

「オープンエアメーカー」だよ！

18

◆読み手の皆さんへ

みんながワクワクした状態で遊んでいる様子です。





19

みんなの あいだの ワクを なくして
ワクワクを つくれるひと。
それが オープンエアメーカー。
がっこうで おうちで いろんなところで
ワクをなくして たくさんの ワクワクを
つくってほしい。

そして オープンエアメーカーの
なかまを ふやしてほしいよね！

◆読み手の皆さんへ

ワクのかけらを道具などに使い、「ワクがないから、ワクワクできる」状態が楽しいことを印象づけています。





20

「ワクワクのつくりかた オープンエアメーカーになろう！」

令和2（2020）年12月発行

発行者：川崎市

協力：NPO 法人高津総合型スポーツクラブ SELF
障害者スポーツ推進プロジェクト実行委員会
かわさきオープンエアプロジェクト

スポーツ庁委託事業「障害者スポーツ推進プロジェクト（地域の課題に対応した障害者スポーツの実施環境の整備事業）」

ワクワクがないから、ワクワクできる

かわさき
オープンエア
プロジェクト



「ワクワクのつくりかた」のつかいかた

「知らない」という社会のワクをなくして、
みんなでワクワクするための紙芝居です。

この紙芝居は、「かわさきオープンエアプロジェクト」が作りしました。
「かわさきオープンエアプロジェクト」とは、障害について「知らない」というワクをなくし、
だれもがワクワクできる「オープンエア」な社会を実現するプロジェクトです。

障害者支援に関心はあるけれど、関わる機会がない。機会があっても、どうサポートしたらいいかわからないという人は少なくありません。障害があるのは、人でなくて、社会。そこには「知らない」という障害からくる、「不安」や「誤解」があるのです。

そこで、「知らない」というワクをなくすために、この紙芝居を作りました。たとえば、みんなでスポーツをしたいとき、みんなと同じようにできない人がいたらどうしたらよいのか、などの例をあげながら、だれかを「助けてあげる」のではなく、みんなで「一緒に楽しむ」方法を考えていきます。おとなの方もぜひ一緒に、「ワク」をなくして「ワクワク」する時間をお楽しみください。

◆読み手の皆さんへ

カラフルな「ワクワク」の文字、その元となっているのは、実は「ワク」です。全編にわたってこのワクの絵を象徴的に使用し、子どもたちに印象づけていきます。

◎感情をこめなくても大丈夫

ゆっくりと、聞こえやすい大きさの声で読んでください。セリフなどに感情をこめすぎると、かえって子どもたちの集中力をそいでしまうことがあります。子どもたちの想像力にまかせて、普通に話しかけるように読んでください。

◎途中で、「あそびを考える」コーナーがあります。
ボールやラケットなど、ふだん使っているあそび道具をご用意ください。

◎ぜんぶを理解できなくても OK

大切なことは、障害のことを「知らない」ままにしておくのではなく、「知ろう」とすること。そのきっかけになれば OK です。



①

ワクをなくしてワクワクをつくるために、ぜひこの紙芝居をご活用ください！

かわさきオープンエアプロジェクト